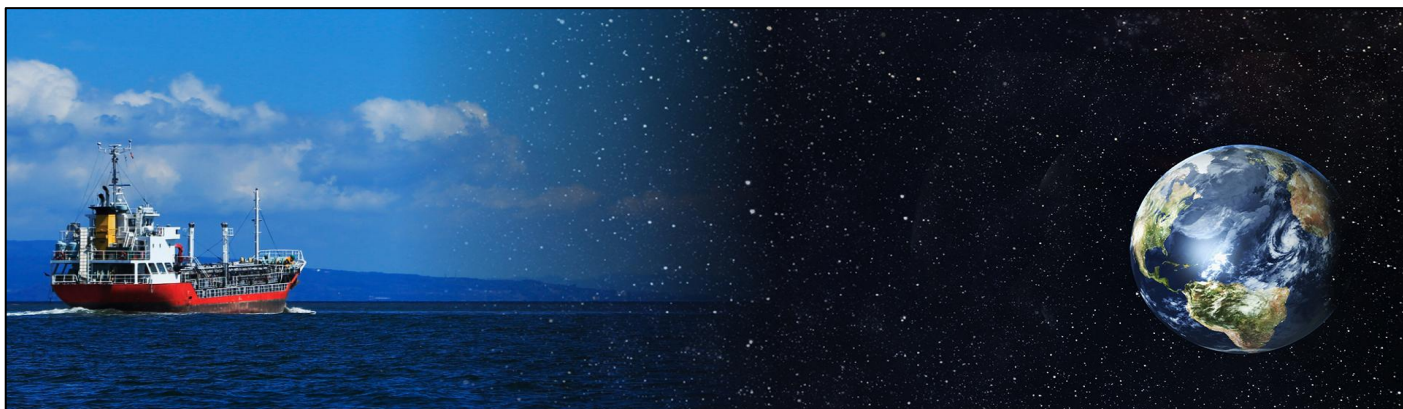




2025年5月期(第39期)第1四半期決算

株式会社ウェザーニューズ
2024年10月4日



代表取締役社長の石橋です。よろしくお願いします。
それでは早速25年5月期の第1四半期の決算の説明をさせていただきます。

1. 2025年5月期 第1四半期決算概要

- 実績サマリ
- Domain別売上
- Sea Domain、Internet Domainの詳細

2. 2025年5月期 通期業績予想

3. 株式分割・増配・株主優待の拡充

4. 最近のトピック&Appendix

まず、前半戦に四半期決算の概要、この通期どうなるかというところの業績予想という数字のお話をさせていただいたのち、これは本日発表しておりますので既にご存じかと思いますが、株式分割・増配・株主優待の拡充というところのお話もさせていただきたいなと思っております。

【売上】5,843百万円(前年同期比4.7%増): Q1として過去最高売上。Sea, Land Domainが売上成長を牽引

【営業利益】455百万円(前年同期比9.6%増): 開発体制、開発環境の強化で運営の効率化が進み増益

【経常利益】当第1四半期の期間内における一時的な円高に伴う為替差損の影響で減益

【純利益】前年同期に発生した定年退職制度導入に伴う税効果認識の反動で減益

単位:百万円	2024.5期 Q1 実績	2025.5期 Q1 実績	前年同期比
売上高	5,580	5,843	+4.7%
営業利益	415	455	+9.6%
営業利益率 (%)	7.4	7.8	+0.4Pt
経常利益	443	388	△12.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	428	279	△34.7%
EPS (円)	38.9	25.3	△13.6円
為替 (USD/JPY) (円)	142.5	154.2	+11.7円

それではまず最初に第1四半期の決算のサマリーからです。
全体的には、我々の社内の計画よりも若干上回るというような形で進んでおります。

まず売上面ですけれども、こちらはSeaとLand Domain、これらがけん引するという形になっております。

そして営業利益、こちらは中計でも説明させていただいておりますが、運営の最適化に向けた施策といったものが効き始めているなというところで

売上高、営業利益ともに増収増益という形で進んでおります。

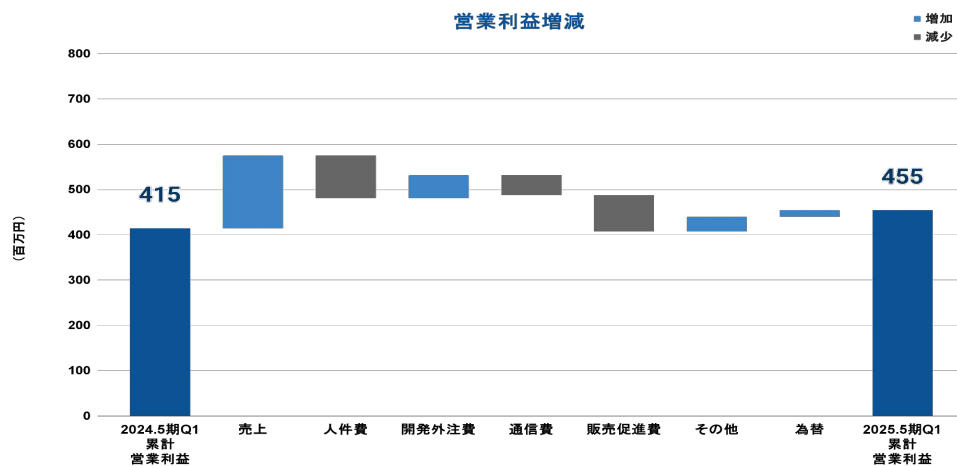
次に、経常利益ですけれども、こちらの方はこの期間に急激な円高がありましたので、
為替差損の影響で減益という形になっております。

続いて純利益に関しては、ちょうど去年のQ1で定年退職制度導入ということで、

我々が新陳代謝を良くしようというような形で導入していますが、この税効果の認識の反動でこちらも減益という形になっておりますが、本業は順調に進んでいるというような形で見ていただければと思います。

営業利益の増減

- スtock型ビジネスで売上は順調に増加
- 海外営業人材、SaaSプロダクト開発人材などの強化で人件費が増加
- 開発体制の内製化で開発外注費が減少
- 足許の天候の状況に鑑みた柔軟な広告投資の実施により、前年同期比で販売促進費が増加



Copyright ©Weathernews Inc. All rights reserved.

4

続きまして、こちらは営業利益のウォーターフォールチャートになります。まず左側の売上から、こちらはストック型ビジネスということで、順調にここは伸ばしております。

人件費に関しては、海外の営業の人材、あとはSaaSの開発人材への投資というところで増えております。

一方で、この外注費(アウトソース)ののところに関しては、内製化が進んでおりますので、こちらの方は少なくなりつつあるということでございます。

その先の販売促進費、こちらはBtoS事業の広告になりますけども、こちらは多少前倒してございまして、6～8月の期間、特に8月のタイミングは結構天気が荒れてましたのでそれらの天候状況に合わせる形で広告を打っているということで、ここは去年に比べると多く出ているという、そういうような状況でございます。

1. 2025年5月期 第1四半期決算概要 Domain別売上

単位:百万円	2024.5期 Q1 実績	2025.5期 Q1 実績	前年同期比 (%)	事業状況
Sea Domain	1,411	1,550	+9.9	・海運市場において、中東情勢に起因する物流混乱が継続したものの世界経済の回復で荷動きは堅調に推移 ・当社においては欧州市場中心の大型顧客の単価増を伴う契約更新、また為替のプラス影響もあり増収
Sky Domain	287	327	+14.1	・エアライン市場において、国内のレジャー需要や円安影響によるインバウンド需要が好調に推移し旅客数が回復 ・当社においては、特にアジアのエアライン顧客向けの売上が成長
Land Domain	1,487	1,600	+7.6	・異常気象発生時の拠点防災や輸送影響、安全確保の観点で地域特性を加味した気象情報のニーズが高まり、主として高速道路市場の顧客数が拡大 ・エネルギー市場や小売市場では、従来型サービスに加えWxTechサービス(SaaS型プロダクト)も拡販し増収
Internet Domain	2,212	2,222	+0.5	・異常気象の激甚化や気象災害の頻発などを背景に気象情報のニーズが高まる中、テレビCMやネット広告などの広告投資を継続したことでアプリの使用頻度が向上し、アプリ利用者数が増加 ・広告市況の改善もありサブスクリプションサービス売上及び広告収入が増加。一方で、通信キャリア向け売上は減少
ストック売上 合計	5,398	5,701	+5.6	—
フロー売上	181	141	△22.1	・将来のストック売上につながる一時的な調査やシステム販売などの売上 (売上げに占める割合は小さいためコメントは割愛)
総計	5,580	5,843	+4.7	—

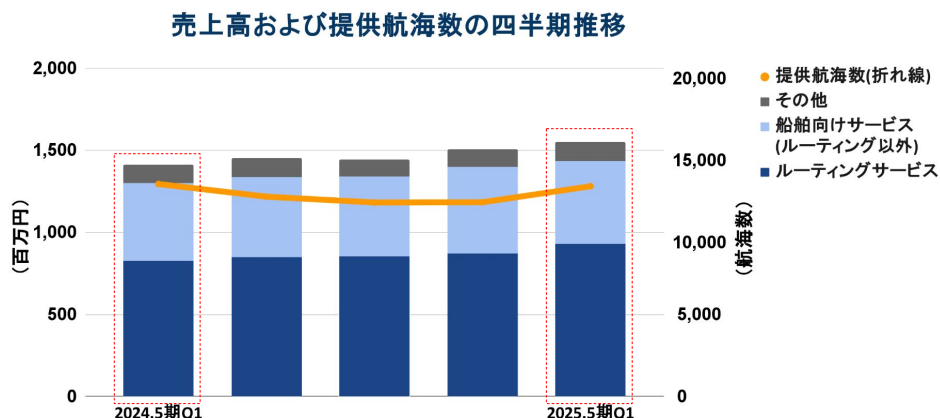
こちらはドメイン別の売上ということで、ご覧いただければ分かる通り、Seaのドメイン、そしてLandというところが牽引しております。

Internet Domainどうしたんだ、というところもあるかもしれませんが、後にSeaとInternetは詳細説明させていただきたいと思います。

Landに関してですが、大型のインフラ企業顧客向けの売り上げも上がりつつ、SaaSのプロダクトもかなり売上に効き始めてるなという形でございまして
大手から中手・小手というところにおいて、良い具合に徐々に利益体質になりつつ売上が上がってきてる、そういう手応えをこの第1四半期で感じ始めてきています。

続いて同様に伸ばしているSeaに関してですが、こちらは次のスライドで詳細をお伝えします。

【市況】 中東情勢による物流混乱は継続したものの、世界経済の回復で荷動きは堅調に推移
【業績】 提供航海数は前年同期並みも、一部の大型顧客の単価アップを伴う契約更新や為替の影響で増収

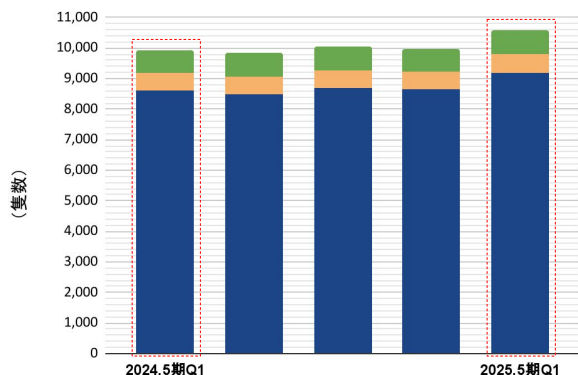


こちらの棒グラフは売上で、折れ線グラフ(オレンジ)が提供航海数という形になります。

中東の情勢など地政学的なリスクがあるものの、経済自身は回復しているということで、荷動きが戻ってきつつあるという状況であり、このオレンジのラインも上がってきているという状況です。

それに伴い売上も上がってきております。こちら、欧州を中心に一部顧客の単価アップ、ないしは最近SaaS型のプロダクトも徐々に拡販し始めておりますが、そういった部分で新しい航海を提供させていただいているところがあり、さらには為替の影響もあり、増収という形になっております。

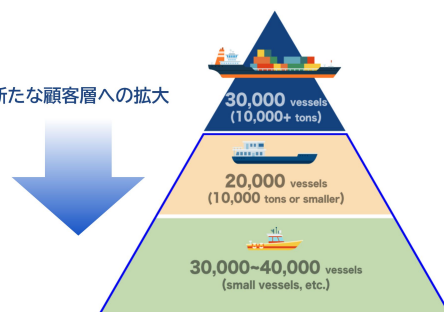
サービス提供隻数



当社サービスを利用している隻数
(複数サービス利用時も1隻カウント)

航海気象事業におけるTAM (中期経営計画より)

新たな顧客層への拡大



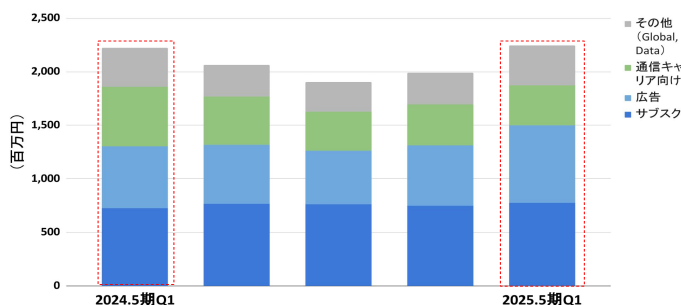
こちらは中計の方でも出させていただいておりますが、現在のSeaのTAMに関する現在の状況です。

我々はまだまだ10,000トン以上という大型船舶向けビジネスを中心にさせていただいておりますが、この先は10,000トン以下といったところに対してもしっかりとサービスできるように準備をしているという状況でございます。

我々はもはや海の上に浮いてるもの全てにサービスできるという状況にあると認識しておりますので、そういったところも着実に進めているという状況でございます。

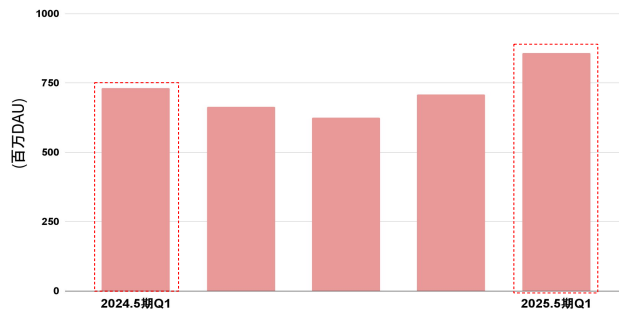
- TVCM、台風などの荒天時の利用機会増加、予報精度の高いコンテンツの提供で累積DAUが増加
- 広告単価の緩やかな回復とアプリ利用者の増加で広告とサブスク売上が増加
- 一部顧客のレベニューシェア単価下落により通信キャリア向け売上は減少

売上高 四半期推移



注) 2025年5月期Q1より売上高グラフの構成を細分化しました。従来サブスク売上に通信キャリア向けを含めていましたが、自社サブスクと通信キャリア向けを区分しました。また広告に含めていた一部の海外売上を「その他」に変更しました。

累積DAU 四半期推移



注) 2025年5月期Q1より、売上構成比の変化や自社コンテンツへのアクセスをより適切に表現するため、累積DAUの集計対象を一部変更しました。

こちらはInternet Domain、前期まではMobile/Internetという風に表現させていただいたところがございます。
まずグラフの説明ですが、左側が売上、右側が累積DAUという形になっています。

こちらのグラフについて、従来から微調整しておりまして、まず売上のグラフは青い部分、下からサブスク、そして広告という形となっていますが、これが右側の累積DAUに紐付いている、という風に見ていただければと思います。

この売上面に関しては、アプリのサブスクになりますけども、こちらは過去最高で去年のQ2よりもちょっと上がっている徐々にしっかりと上がってきています。また、広告のところが大きく伸びてきています。広告はメディアの力もだんだん上がってきているということと、ターゲティングして単価を落とさない取り組みもしており、ぐっと伸びた形です。

一方で、売上のグラフの緑の部分、こちらは今回新しく追加した「キャリア向け」の部分ですが、この部分が下がってきているということで、トータルの売上では微増というような形になっております。

一方で、累積DAUに関してはこれ8億5000万DAUを突破しているという状況になっており、見ていただける・使っていただける方は確実に増えておりますので、そちらの方を引き続き伸ばしていきたいなと思っております。

2. 2025年5月期 通期業績予想
Domain別 売上予想

単位:百万円 Domain	2024.5期 実績	2025.5期 計画	前期比
Sea	5,813	6,000	+3.2%
Sky	1,210	1,260	+4.0%
Land	6,301	6,740	+7.0%
Internet	8,082	8,700	+7.6%
ストック売上 合計	21,407	22,700	+6.0%
その他	835	800	△4.3%
総 計	22,242	23,500	+5.7%

こちらは通期の売上予想になります。

予想に関してもSea、そしてInternetがこれから伸び、さらにはLandも来るぞというところです。

Skyも伸びておりますが、つまり、全てのドメインにおいてしっかりと伸ばすということで、235億円を目指しております。

2. 2025年5月期 通期業績予想 通期業績予想サマリ

■期初計画から据え置き

【売上】23,500百万円(前期比 5.7%増)

Internet Domainの成長継続、Sea Domainの欧州成長、Land DomainでのSaaSビジネス拡大で増収を計画

【営業利益】3,800百万円(前期比 16.2%増)

利益体質化の着実な進展を背景に、各段階利益で過去最高益を目指す

単位:百万円	2024.5期 実績	2025.5期 計画	前期比
売上高	22,242	23,500	+5.7%
営業利益	3,270	3,800	+16.2%
営業利益率 (%)	14.7	16.2	+1.5Pt
経常利益	3,341	3,800	13.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,437	2,700	+10.8%
EPS (円)	221	244	+23.3円
ROE (%)	12.8	13.3	+0.5Pt
為替 (USD/JPY) (円)	147.9	150.0	+2.1円

こちらは最終的なサマリーになります。売上高235億円ということで全て
期初計画から据え置きです。
営業利益、経常利益、そして純利益、全てにおいて過去最高というところ
を目指しているというところは変わりありません。

事業間シナジーの強化、及び事業横断的なSaaSビジネス拡大を推進するため、
既存のPlanning(事業部)を4つのDomain(事業領域)として再定義

※24年5月期決算(2024年7月)より決算資料に反映

Sea Domain



航海気象

Sky Domain



航空気象

Land Domain



陸上気象
環境気象
気候テック
放送気象

Internet Domain



モバイル・インターネット気象

こちらも前回の通期決算でのご説明させていただいた通り、事業領域を再定義しているというご紹介です。

Sea、Sky、Land、Internet、そういう四つの地球(領域)があり、そこに対して我々は気象と気候のサービスを提供していく、ということが事業領域を変更した背景です。

3.株式分割・増配・株主優待の拡充

株主サポーターとともに中長期的な成長を見据え、**資本政策及び株主還元を強化・推進**

① 株式分割

- 11/30を基準日に1:2で分割。株式の流動性を高め、投資家層の拡大を図る

② 増配

- 年間配当を130円(10円増配)→140円(20円増配、分割前)に増配
「高貢献、高収益、高分配」の基本的な考え方のもと、株主への還元を強化

③ 株主優待の拡充

- 8月末より優待内容を変更(拡充)
アプリ「ウェザーニュース」(月額330円程度)→「ウェザーニュースPro」(月額680円)に
- 優待の基準株式数は分割後基準で100株以上とし、より多くの株主の皆様にご利用いただく

ここからは株式分割、そして増配の説明をさせていただきたいと思います。一言で言うと、手に入れやすく配当も増えるということでございます。

株に関して言うと当社の株式では単元株100株では50万円以上になりますが、プライム市場全体で見渡すと9割弱が50万円以下ということで、若干購入しづらいところもあるのかな、という風に思いまして、このタイミングで分割を決断させていただきました。これに伴って流動性も高めていきたいなという風に思っております。

また、配当に関してですが、期初のタイミングでは今期の年間配当130円ということで、これまで10円ずつ安定して上げていくというような形を取っていましたが、こちらの分割前の比較で140円、つまり前期比20円の増配というところをこのタイミングで決断させていただきました。従来よりお伝えさせていただいている通り、当社には「高貢献・高収益・高分配」という基本的な考えがありますので、株主還元を強化するという意味で高分配という部分でも対応させていただいております。

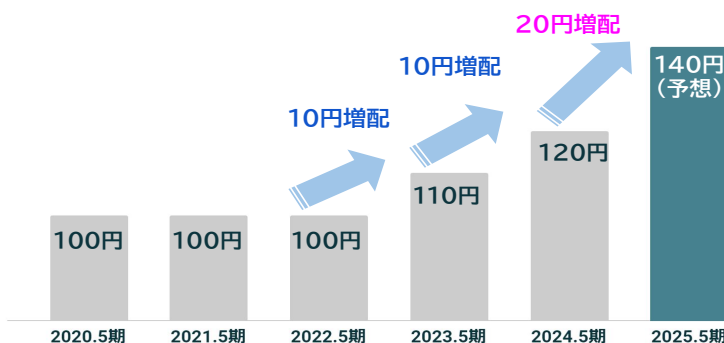
3. 株式分割・増配・株主優待の拡充

配当方針・株主優待の詳細

配当方針

3年連続増配予定

- ・「高貢献、高収益、高分配」の考えのもと、中長期にビジネスを推進する戦略的事業投資を優先しつつ、長期安定配当として最適な自己資本水準及び投資環境、利益等を総合的に考慮して配当を決定
- ・当期(2025.5期)は1株当たりの年間配当を140円(3年連続増配)とする予定



注) 株式分割前の金額を記載しております。株式分割は2024年12月1日を効力発生日としていますので、2024年11月30日を基準日とする第2四半期末配当金の支払いについては、株式分割前の株式数を基準に実施いたします。

株主優待

優待内容を拡充

- ・2024年8月19日より、株主優待制度の内容を拡充
- ・アプリ「ウェザーニュース」(月額330円程度)の半年間の利用権を「ウェザーニュースPro」(月額680円)に変更
- ・上記6ヵ月間で4,080円相当(1年間所有で2回利用可能)

ウェザーニュースProのご紹介

- ・「ウェザーニュース Pro」は、累計4,500万DL、2年連続予報精度No.1のお天気アプリ「ウェザーニュース」のPC向け新サービスです(2024年7月31日リリース)
- ・“プロの気象情報をすべての人に”をコンセプトに、高度で専門的な気象情報を提供。日本全国の気象・防災情報を地図上に集約して、一元的に把握することができます。30時間先までの超高解像度雨雲レーダーやウェザーリポート、ライブカメラ、独自の防災コンテンツなど、ウェザーニュースが持つ高度で多角的な専門情報が、PCの画面上で広告なしで確認できます。



最後に株主優待に関してですが、これまでアプリの会員(330円)を優待内容としていましたが、ウェザーニュースProというものを最近リリースしましたので、このProに優待を変えました。

今回の分割に伴い、こちらは分割後の基準で100株以上という形になりますので、ウェザーニュースの株を手に入れたら、そのタイミングでウェザーニュースProも使っていただけるというような形になっております。

我々は株主の方を『株主サポーター』と呼ばせていただいているのですが、やはり株主の方々にも是非ウェザーニュースProを使っていただいで、

気象・気候と、我々の減災、気候変動、これと向き合って戦っていく同志という形で、気象のリテラシーをどんどん上げて、取り組みへの参加率もどんどん上げていきたいなというようなことも考えております。

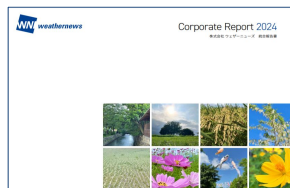
配当方針と株主優待の詳細についてはこちらのスライドに記載しておりますので、後ほどご覧いただければと思います。

4. 最近のトピック

◆アプリ『ウェザーニュース』
累計DL数が4,500万DL突破



◆統合報告書CorporateReport2024
弊社の強みや成長戦略を紹介



※[CorporateReport リンク](#)

◆『ソラテナPro』
最大瞬間風速のアラート開始



※[2024年8月6日 リリース記事](#)

◆『ウェザーニュースLiVE』
チャンネル登録者数132万人を突破

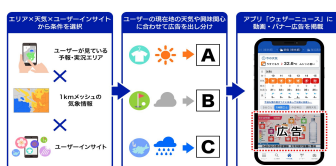


◆『ウェザーニュース for business』
工場版を提供開始



※[2024年8月28日 リリース記事](#)

◆1kmメッシュで広告を出し分け
「天気連動広告」で“実況天気”連動を開始

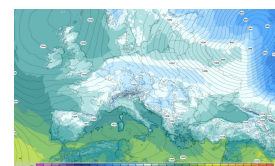


※[2024年8月22日 リリース記事](#)

◆あらゆるサイズの船舶の航海をサポートする『Sea Navigator』
を欧州を中心に展開



◆2kmメッシュの高解像度で
欧州の天気予報を提供開始



※[2024年7月17日 リリース記事](#)

最後に、期中の主なトピックということで、この第1四半期であったことを羅列しております。

アプリのダウンロード数が4,500万を突破しました。
Corporate Report(統合報告書)も日本語・英語でリリースさせていただいております。
ソラテナProということで、観測機も日々バージョンアップしておりますし、
ウェザーニュースLiVEの登録者数についても、去年100万人を突破しましたが、現在は132万人を今は突破しております。
ウェザーニュース for businessも、様々なターゲット顧客に対してパッケージを提供させていただいております。
広告に関しても、いろいろな仕組みを入れております。

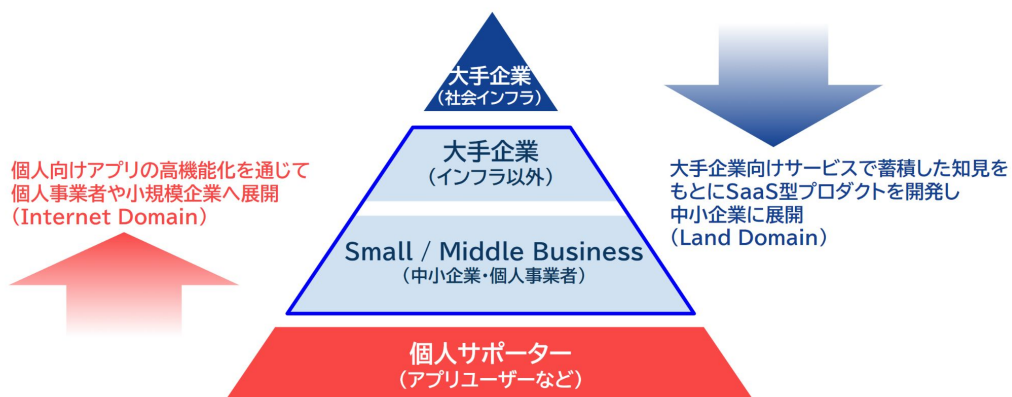
Seaのドメインに関しては、全ての船をサポートできるようなサービスも、随時開発や導入を進めています。
欧州に対しては、高解像度の気象データなどもリリースさせていただいております。
資料内に青い部分にプレスリリースへのリンクを設けておりますので、そちらの方でも詳細をご確認いただければと思います。



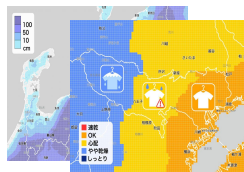
私からは以上でございます。

APPENDIX

【現中計期間】 新たなSaaSプロダクトを立ち上げ、新たな顧客層(中小企業)に展開
【中～長期】 既存サービスをSaaS型にシフトし、更なる利益体質化の実現を目指す



Appendix WxTech(ウェザーテック)のご紹介



WxTech data

天気予報、過去の天気データはもちろん、地震や津波、火山などの災害リスクを伴ったデータ、また、桜の開花予測や花粉の飛散量、熱中症、紫外線、天気痛など、人の生活や健康に関連するデータなど、自然現象にまつわるあらゆるデータを提供。

(価格:月額30,000円~)



ウェザーニュース for business

アプリ「ウェザーニュース」にお客様のビジネスに必要なお天気ページを追加。施設や店舗、営業所を地点登録することで、ビジネスの意思決定に関わるプッシュ通知をピンポイントで受け取ることができます。

(価格:月額29,400円~)



WxTech Ads

高解像度気象データとユーザーの現在地情報を掛け合わせ、気象状況に応じた広告をアプリ「ウェザーニュース」内で自動配信。定期的に気象情報を閲覧しにくるユーザーへタイムリーに働きかけ、商品への興味関心や購買意欲の向上を促進。

(価格:500,000円~)



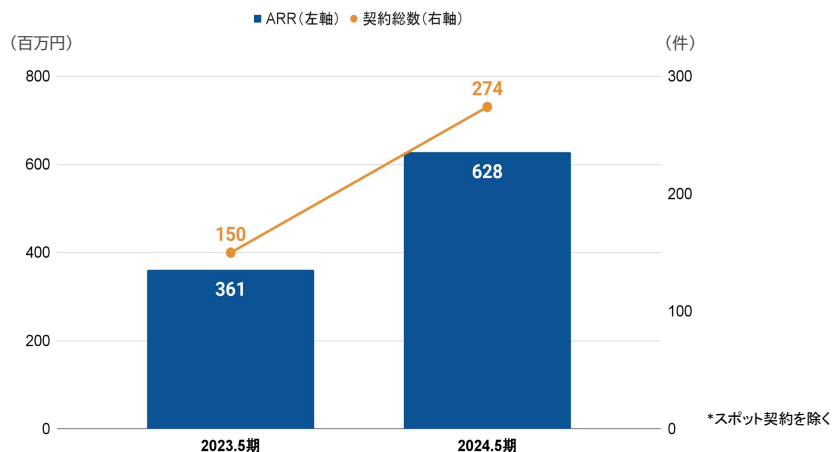
WxTech IoT (ソラテナPro)

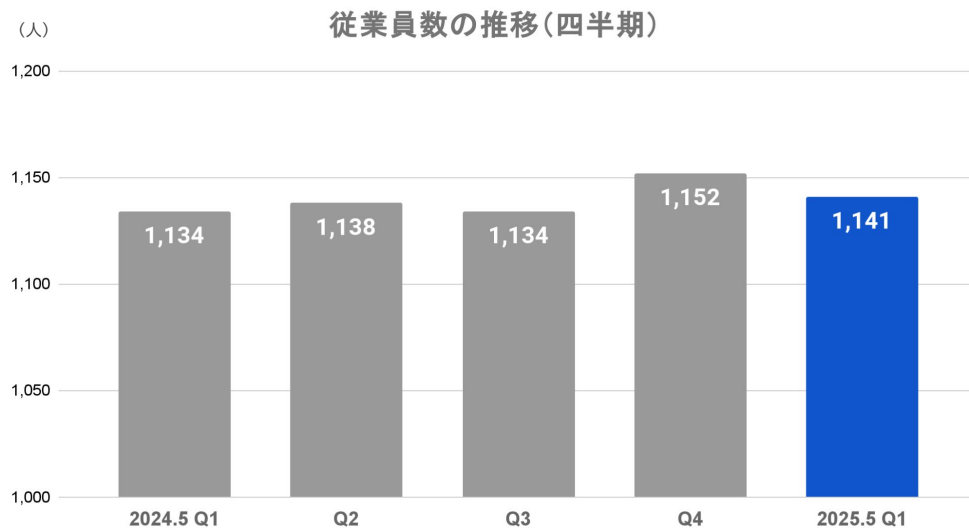
小型、軽量、省電力のIoTセンサーで現場の気象を見える化。企業の安全対策や生産性向上、マーケティング施策や分析を強力にサポートします。



(価格:月額25,000円~)
※レンタルの場合

プロダクトの充実と新市場へのリーチが進み、ARRは継続して増加
解約率は低位で推移しており、2025.5期も継続的な成長を見込む





Appendix
連結貸借対照表

単位:百万円	2024.5期 Q1 実績	2024.5期 実績	2025.5期 Q1 実績
流動資産	16,994	19,392	19,432
固定資産	3,635	3,665	3,461
資産合計	20,630	23,058	22,894
流動負債	2,128	2,718	2,862
固定負債	258	551	549
負債合計	2,387	3,270	3,411
純資産合計	18,242	19,788	19,482
自己資本比率 (%)	88.0	85.4	84.7
1株あたり純資産 (円)	1,647.0	1,783.6	1,756.0

Appendix
事業別売上 四半期推移

	2024.5期				2025.5期
単位:百万円	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
Sea Domain	1,411	1,451	1,444	1,504	1,550
Sky Domain	287	301	307	314	327
Land Domain	1,487	1,523	1,645	1,645	1,600
Internet Domain	2,212	2,020	1,876	1,972	2,222
ストック売上 合計	5,398	5,297	5,274	5,437	5,701
フロー売上	181	273	233	147	141
総計	5,580	5,570	5,507	5,584	5,843



当社は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき、本資料を作成しておりますが、本資料の正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

また、業績予想など将来に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々なリスクや不確定な要素などの要因により異なる場合があります。